

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	29	72	百日咳	0	2
RSウイルス感染症	2	3	ヘルパンギーナ	62	48
咽頭結膜熱	23	16	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	81	81
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	73	64	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	260	270	流行性角結膜炎 (はやり目)	20	1
水痘	130	117	細菌性髄膜炎	1	0
手足口病	155	72	無菌性髄膜炎	2	0
伝染性紅斑 (りんご病)	22	16	マイコプラズマ肺炎	1	4
突発性発しん	40	53	クラミジア肺炎	0	0

**報告が多い
感染症**

- 感染性胃腸炎
- 手足口病
- 水痘

- 感染性胃腸炎は、報告数 260件(前週報告数 270件)と減少。地区別では、山鹿、宇城、菊池に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の34件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 手足口病は、報告数 155件(前週報告数 72件)と増加。地区別では、水俣、熊本、菊池に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の70件を最多に、6歳以下からの報告である。
- 水痘は、報告数 130件(前週報告数 117件)と増加。地区別では、宇城、人吉、有明に報告が多くみられる。年齢別では、3歳の31件を最多に、主に6歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	2	2	15	29	77	29	78	9	14		19	32		20	1	2	1	
山鹿保健所					25	6		2	5		1	6	*	*				
菊池保健所			4	10	28	12	17	2	4		2	5						
阿蘇保健所					3						1	1	*	*				
御船保健所					4	2						2	*	*				
八代保健所				10	25	8	13	2	4		1	4						
水俣保健所	1			1	2	1	11				12	4	*	*				
人吉保健所				5	18	23	4		3		3	2	*	*				
有明保健所	3		1	7	24	16	13	3	4		3	11						
宇城保健所	4		1	6	27	26	4	3	3		1	11						
天草保健所	19		2	5	27	7	15	1	3		19	3						
計	29	2	23	73	260	130	155	22	40	0	62	81	0	20	1	2	1	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上
インフルエンザ	29			2				1	3	2	5	4	11		1						
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上						
RSウイルス感染症	2				1						1										
咽頭結膜熱	23		2	7	5	2	2	2		1					2						
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	73			3	4	9	10	11	16	4	4	4	5		3						
感染性胃腸炎	260	5	29	34	20	26	23	24	15	19	10	13	27	4	11						
水痘	130	2	9	29	22	31	13	17	6			1									
手足口病	155	2	12	70	39	23	1	6	2												
伝染性紅斑	22		2	3	3	4	3	2	1	1	1		2								
突発性発しん	40	2	21	16	1																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	62	1	8	25	8	8	4	1	3			2		1	1						
流行性耳下腺炎	81			4	6	15	17	8	10	9	3	3	5		1						
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	20						2		1		2		1	3	3	2	3	1	2		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎	1													1							
無菌性髄膜炎	2		2																		
マイコプラズマ肺炎	1			1																	
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 水痘 : 人吉、宇城
- 手足口病 : 水俣
- ヘルパンギーナ : 水俣
- 流行性耳下腺炎 : 山鹿

◆手足口病



手足口病が5週連続で増加しています。今週は前週の約2倍を超える報告がありました。全国でも3週連続で増加しています。地域別では水俣、熊本、菊池地域からの報告が多くなっています。特に水俣地域では警戒レベルを超えており、注意が必要です。手足口病は、幼児を中心に流行するウイルス性の感染症で、手のひら、足のうら、口の中などに小さな水疱のような発疹ができるのが特徴です。大部分は発疹と軽度の発熱などの軽い症状で経過しますが、まれに髄膜炎など重症化する場合があります。頭痛・嘔吐を伴う、高熱を伴う発熱が2日以上続く、などの場合は早めに医療機関を受診して下さい。患者のくしゃみなどからのしぶき、水疱の中身、患者の便にウイルスが存在し、回復しても数週間は、便中にウイルスが排泄されます。排便後などの手洗いの徹底が、予防に有効です。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課